



平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

標津郡標津町長 金 澤



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

日頃から標津町の行政執行に対しご協力、ご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付けをもってご依頼のありました「中期的な計画の作成にあたっての意見」ではありますが、別紙のとおり提出致します。

標津町にありましては、道路の未整備等の課題を抱えております。

今後共ご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

中期的な計画の作成にあたっての意見

標津町は、北海道の東、根室海峡沿岸の中部に位置し、24km先に国後島を望む漁業と酪農を基幹産業とする町です。

道東の中核都市である釧路市とは国道272号等で連絡し113km、知床世界自然遺産の羅臼町は国道335号で49km、同じく網走支庁管内斜里町は国道244号で55km、根室支庁所在地根室市は国道244号等で90kmの位置にあります。

この標津町のおかれている状況から、今後の道路政策や道路の整備・管理については、次のとおり考えます。

○都市間自動車道の整備

標津町の位置する釧路・根室圏域は、都市間の時間距離が長いことから、中枢都市札幌市のサービス享受が困難な地域であります。

今後、釧路・根室圏域において高次的な都市機能を相互に活用する地域づくりが求められており、都市機能を分担・交流する「地域連携」施策を展開するなど、地方都市間の交流・連携の促進を積極的に図る必要がある。

このため地方中核都市レベルの機能形成とこれら都市圏内のアクセス条件の改善を図るため、高規格幹線道路や地域高規格道路の整備など交通基盤の早期整備が必要である。

○近隣中核都市とのアクセスの整備

標津町の医療圏は、1次医療は標津町国保病院、2次医療は地域中核病院である中標津町立病院、3次医療は釧路圏に頼らなければならない状況にあります。

また、標津町をはじめ近隣町は、慢性的な医師不足状況にあり釧路圏との交通アクセスである地域高規格道路「釧路中標津道路」が町民の生命線となっている。

医療ヘリコプターの整備も図られているが、当地方の気象状況から荒天が多く、道路が最重要であり早期整備が望まれます。

○冬に強い道路の造成

国道244号は根室支庁管内と網走支庁管内を結ぶ交通の要所であり、産業、観光に欠かせない路線であるが、その地勢や線形から冬期間には雪による通行止めが非常に多く発生する。

冬期間は、両管内を結ぶ国道334号が閉鎖されるため両管内を結ぶ唯一の路線であり、線形改良等による冬に強い道路の整備が必要であります。

また、交通手段が車輛のみであります当地方では、迅速な除排雪が必要であり万全な除排雪体制の確保が不可欠です。

○安全・安心な道路の確保

本町は、オホーツク海に面し標津川をはじめとする河川が多く分布しているところから橋梁も多く設置されています。

近年、地震が多発し町民の不安も非常に大きくなっていますが、道路や橋梁等の災害時の安全性にも不安を持っております。

安心・安全な道路及び橋梁の確保が必要であります。

また、国道掲示板による地震・津波情報を早期に提供いただき車輛通行者及び地域住民が迅速に避難ができるよう、施設の整備が必要です。

○市町村道事業予算の確保及び助成制度の確立

本町の町道は、改良率が66%であり道路事業予算の確保がまだ必要であります。
今後の事業予算の確保について配慮が必要です。

また、既に改良・舗装整備が終了した路線にあっても、年々ミルクタンクローリー等の大型化により路肩の損傷が著しくなっておりますが、補修に対する助成制度が無く整備に苦慮しているところ です。

補修が道路を長持ちさせ、効率的な使用方法であるところから、補修に対する助成制度の創設を強く求めるものです。